



佐土原ロータリークラブ週報



SERVICE Above Self

超我の奉仕

2005-2006 年度 R I テーマ

会 長：岩 切 正 司 幹 事：柳 田 光 寛
 副 会 長：佐 藤 高 元 会報委員長：林 厚 雄
 会 計：荒 武 義 博
 事 務 局：〒880-0303 宮崎郡佐土原町東上那珂 10255
 TEL：0985-30-5766 FAX：0985-30-5788
 携帯：090-2078-0483 齊藤美喜代
 例 会 日：毎週水曜日
 例 会 場：ハイビスカス ゴルフクラブ
 TEL：0985-73-0109

第 898 回 平成 17 年 9 月 14 日（水）

本日のプログラム

- 1. 点 鐘
- 2. 食 事 の 時 間
- 3. ロータリーソング
「奉 仕 の 理 想」
- 4. 四つのテストの唱和
- 5. 会 長 の 時 間
- 6. 幹 事 報 告
- 7. 委 員 会 報 告
- 8. ガバナーアドレス
- 9. クラブフォーラム
- 10. 点 鐘

第 897 回の記録

平成 17 年 9 月 7 日

★ 会長の時間 会長 岩切正司 君
 今回の台風14号で被害に遭われた方にはお見舞い申し上げます。

今日はガバナー補佐について話します。

地区レベルにおいて奉仕し、指定を受けたクラブの管理運営に関してガバナーを補佐する責務を委任されたロータリアンを「ガバナー補佐」と称する。ガバナー補佐はロータリーの役員ではない。

「ガバナー補佐を置く目的」

1. 十分な研修を積んだ地区指導者を増やし、ガバナーの負担を軽減し公式訪問の柔軟性を高める。
2. 地区ガバナー候補者の視野をひろげる。
3. ガバナーがロータリー財団や地区の諸活動に参加しやすくする。
4. ガバナー補佐を通じて、地区内各クラブとガバナーはコミュニケーションを円滑にし、各クラブを効果的に指導する事で、地区と各クラブを強化する。

★ 幹事報告 柳田光寛 君
 例会変更なし

★ 会員卓話 正岡文郁 君
 「般若心経」について

日本の仏教徒の間で親しまれよく読まれているお経といえ、それは何ととっても「般若心経」であろう。

本文 262文字という短いお経であること、読む口調が良く読みやすいこと、昔から浄土系以外の宗派では殆んどの宗派で日常經典として最初に学び読まれてきたことなどから、宗派を超えてよく読まれてきたお経となっている。

しかしどういことが説かれているお経かと、その内容を文面から理解しようとすると難解といわざるを得ない。「般若心経」は「空」という「仏教のものさし」すなわち智慧から見た真実のあり方を幾つかの説き方で示している。

例えば、「色即是空・空即是色」とはどういう意味であろう。「あなたにとって幸せとは何ですか？」と問われたとする。必ず一般的にはお金、社会的地位や名誉、恋人や良き伴侶、素敵な家や宝石等が手に入る事、また何より健康なことだという答えが出てくるに違いない。

ところがこれらは「人間のものさし」で測った幸せである。全て目に見えるものである。「般若心経」ではこうした目に見えるものをひっくり返して「色」と表現する。

「色即是空」とは折角皆様が手に入れたと願っている様々なものを「仏教のものさし」で測りなおした時、それらは決して人を真の幸せにしてくれるものではなく、何より実体的に存在していて、いつまでも頼りにできるものではないと答えがでる。よってあまりとらわれないようにという事になる。

前ページより

「空即是色」はいつまでも頼りにすることができない。お金・健康・伴侶などには違いないが、それらが私共を支え生かす幸せを与えてくれるということも確かだと言える。

そうすると、お金や健康・伴侶一つ一つ実にかげがえの無い大切なものであると改めて受け取れる。自ら感謝の心も出てくるというものだ。

奈良東大寺の清水公照さんはそここのところを「腹がへったら何でもうまい」と表現されている。真の幸せを確かめ感謝できる生活に至るためには一切のものにとらわれない智慧のあることに気が付き、その智慧を使っていくことが大切である。とは言っても私共誰しもがいつでもどこでも「般若心経」の「空」の立場に立ち「仏様のものさし」が使えるものではない。

奈良薬師寺の元管長高田好胤さんは「偏らない心、こだわらない心、とらわれない心、ひろく、ひろく、もっとひろく・・・これが「般若心経、空の心なり」と言っておられる。味わっていただきたい。

尚、一節一節その内容についてはまた機会があれば勉強していきたいと思う。以上

ロータリーでの感動体験と良かったと思った事柄
クラブ強化推進委員会からの資料より

人生

1. 異業種のクラブ会員先輩から、炉辺会合の時に社会や人生について率直なアドバイスを受けた。それぞれの人生観を聞かされたことが今でも残り、役にたっていること。
2. 他業種の職業はもとより、自分が生きて来た世界よりはるかに大きな世界を知った。
3. 色々な活動を通じて感動があり、後輩に伝える義務責任があり自分の勉強になる事が多い。
4. 異業種の方と経営問題など忌憚のない話が出ること。
5. 時間を大切にするようになってきたこと。
6. クラブの40年という輝かしい歴史を重ねたこと正に感激です。ロータリーが永遠の理想を持っているからだと思えます。温故知新、原点にかえることを忘れずに心掛けるべし。
7. 国歌「君が代」を歌う機会が増えたこと。
(ロータリー以外、機会がない。)

職業奉仕

8. ネパールの町から車で1時間、さらに徒歩で1時間の小さな学校校庭で内科検診を行った。その時に、一生に初めて医師から診察を受けられると言って、老人が背負われてきた。目はすでに見えないがとても喜んでくれたこと。

社会奉仕

9. クラブの社会奉仕と職業奉仕プログラムとして、「悩み事、よろず無料相談」を全会員で実施した。その一週間後に市民の老夫婦が「助かった。一言どうしてもお礼を述べたい」と言って例会に挨拶にきたこと。
10. 「一日父親デーに参加して」入会してまだ2～3ヶ月後のことです。何も知らないまま会長・幹事ら数名と白浜に母子家族40人を招待しお世話しました。楽しそうに遊ぶ母親と子供、父親がなくとも生きていく逞しさ、屈託のなさを見て、こんな意義のあるロータリーなら入って良かったと、初めて感じました。
11. 養護学校の運動会に参加して、学童の喜び及び父母の校友の会話に特に感動した。
12. 観光バス3台をチャーターし、県立たちばな養護学校の生徒、父兄をマリーナシティで開かれた。木下大サーカスに招待して、感動体験をしてもらった事。
13. 川のクリーン作戦や桜の木の手入れなどの奉仕活動に参加し、会員の皆さんと気持ちのいい汗を流したとき。
14. 韓国の慶州ナザレ園と一緒に訪問した高校生感想文に地区のロータリアンが感動したので、戸籍の無くなった老人を政府と交渉し、日本の老人ホームに引き取ったこと。その後、老人ホームで天寿を全うしたが、そのお礼と報告を兼ねて、私が慶州ナザレ園に行き理事長と会ったが、前理事長の人道的な奉仕の一生に感動したこと。
15. 会員が社会奉仕活動に真剣に取り組んでいる姿に感動。
16. 入会直後の例会で駅前清掃があり、その際に駅前ロータリーに時計台を設置した頃の事業や今までに行った事業を大変親切に話して戴けた事。
17. 入会2年目で、社会奉仕委員長をおおせつかった時、計画案に対し、会員が積極的に応援してくれたこと。
18. 重度身体障害者施設訪問のとき、うれしそうな顔を見、そして、ありがとう又来年もね...と言われたとき。
19. 各国からの青少年交換学生は、しっかりした意見を持ち、人格も、日本の高校生より数段大人だと感じた。

今月のセレモニー

会員誕生 藤堂孝一君 永野陽子君

奥様誕生 岩切純子さん 荒武由美さん

出席状況 第892回 平成17年8月3日

会員数 27名
出席者数 17名
出席率 63%

欠席者数 10名
メイクアップ 2名
修正出席率 70%

■ 四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか